

高大連携協定校が7校になりました

9月25日、和洋女子大学は併設校である和洋九段女子高等学校と高大連携に関する協定を締結しました。本学では高等学校の生徒に対し、大学レベルの教育を履修する機会を提供することを目的として、本学が開講している授業を高大連携科目として開放しています。この締結により、大学が開講している授業を高等学校の生徒が受講できるようになります。受講科目を単位修得すると、和洋女子大学に入学後、大学の単位として認定されます。

[2015年12月現在の協定校] 千葉県立国府台高等学校、日出学園高等学校、和洋国府台女子高等学校、東京都立忍岡高等学校、東京都立小岩高等学校、千葉県立津田沼高等学校、和洋九段女子高等学校

第13回 和洋女子大学 競書大会

全国の小・中・高校生、書写・書道教育の振興および青少年の育成と豊かな情操教育を目的とした本学の競書大会。第13回大会では209団体から11,190点の作品が寄せられました。入賞・入選作品は、11月21日・22日の2日間、文化資料館および書道教室で展示され、22日には表彰式が行われました。

第13回 回遊展 in 八幡「やわたマルシェ」に出店

9月27日、第13回「回遊展 in 八幡」の一環として、市川市八幡の葛飾八幡宮境内で開催された「やわたマルシェ 手づくり市」に服飾造形学類が出店しました。嶋根研究室の3名のゼミ生有志による手づくり品と、卒業生3名によるカルトナージュやつまみ細工などを販売。また、家政学群共通科目「地域生活創造演習」の授業の履修生が、織田助教の指導により市川の街で求められているものは何かをリサーチし、企画して制作した商品を販売しました。



「糖尿病いきいきレシピコンテスト」で審査員特別賞!



「第2回 チャレンジ! 糖尿病いきいきレシピコンテスト」の昼食部門に健康栄養学類3年生の大山朋美さん、小林仁美さん、黒沼夏希さんのチームがエントリーし、審査員特別賞を受賞しました。受賞レシピは「ひと味違う! 満腹和洋ランチ」。食生活に制限がある方のためにカロリーを抑えながら、味も見た目も満足できるレシピを考案しました。

平成27年度 和洋女子大学優秀賞

- 宇田川 千夏(英文学専修4年)
- 山根 陽穂(英語コミュニケーション専修4年)
- 田口 綾美(英文学専修3年)
- 小島 美沙貴(英語コミュニケーション専修3年)
- 橋 真以(日本文学専修4年)
- 須藤 恵(文化総合芸術専修4年)
- 永井 美香(日本文学専修3年)
- 沖山 梓(文化総合芸術専修3年)
- 菅澤 舞乃(国際社会システム専修4年)
- 押 清香(人間発達学専修4年)
- 荒井 美加子(国際社会システム専修3年)
- 堀井 ゆき子(人間発達学専修3年)

平成26年度の成績をもとに、各専修から優秀な学生を選出し、表彰しました。

- 土橋 知可(服飾造形学専修4年)
- 高野 紗帆(服飾造形学専修3年)
- 加藤 彩夏(健康栄養学専修4年)
- 清水 雅子(健康栄養学専修3年)
- 小泉 菜由(生活環境学専修4年)
- 登内 千遥(生活環境学専修3年)
- 平野 夏季(国際社会専修2年)
- 植松 祐美子(日本文学専修2年)
- 田中 碧(日本文学専修2年)
- 山本 楓(心理学専修2年)
- 大塚 咲希(こども発達学専修2年)



- 渡辺 幸希子(服飾造形学専修2年)
- 上保 ありさ(健康栄養学専修2年)
- 丸山 真愛(健康栄養学専修2年)
- 田邊 春菜(家政福祉学専修2年)

※3・4年生の専修名称は改組前のものです

～学生及び保護者の皆様へ～ 平成27年度 和洋女子大学・和洋女子大学大学院 学位記授与式のご案内

平成27年度 学位記授与式を次の通り、挙行いたします。

- 内容 ● 日時 平成28年3月18日(金)
● 開式 11:00 ● 開場 10:00(入場完了10:50)
● 場所 和洋女子大学内 講堂
詳細は平成28年1月上旬頃、大学HPに掲載予定です。
【お問い合わせ】 学事課 ☎ 047-371-1560

写真部だより
vol.03 里見祭キラキラ☆ガール

キックターゲットを行っていたフットサル部のメンバー。冬の大会に向けて、ディフェンスで抜かれず、ゴールを死守する為、走り込みをしているそうです!取材中もみんなの仲の良さが伺えました。
文:大堀実紗
撮影:鈴木真梨子

今号の表紙 和室 [東館16階] 里見祭での御前控を控えた茶道部の学生たち。茶道部の流派は表千家。毎週木曜日、和室で活動を行っています。

和洋女子大学 広報・入試センターでは、学報に関する皆様のご意見やご感想をお待ちしています。メールアドレス (iko@wayo.ac.jp) までお気軽にご連絡ください。



大学HPはこちらから



facebookでも大学の情報を発信しています。
http://www.facebook.com/wayo.univ

Wayo On

自立して輝く女性になるために

和洋女子大学
学報
vol.62
Winter
2015

～The universe of cosmos～

学生たちの活躍

① 就職サポート

② 学生たちのボランティア活動

THE UNIVERSE OF COSMOS

学生たちの活躍

学生会やサークル活動、学内外でのボランティアなど、学生たちは日々、様々なことに挑戦し、活躍の場を広げています。第57回を迎えた里見祭(大学祭)の様子を中心に、活躍する学生の姿を紹介します。

第57回 里見祭 レポート

今年の里見祭のテーマは「宇宙～The universe of cosmos～」。

来場者数は5,316名。来場者の方々に学生たちの「無限の可能性」を感じていただく大学祭をめざしました!



見事、里見姫に選ばれたのは、心理・社会学類 人間発達学専修 子ども発達支援コース (現 子ども発達学類)3年の久西諄奈さん

第9回 里見姫 コンテスト

里見祭の大人気イベント、里見姫コンテスト。「外見だけではなく、中身で勝負!」する、普通のミスコンテストとは一味違うコンテストです。競技を観覧者の方々に見ていただき、皆さんからの投票でミスと準ミスが決まります。今年は6人の学生がエントリーし、「自己PR」「5秒チャレンジ」「〇×ゲーム」の3つの競技を行いました。



第5弾! 山崎製パン株式会社とのコラボ商品企画

企画から試作、販売コンセプト、パッケージデザインまで、すべてに学生たちの感性やアイデアを盛り込んで新商品を生み出す、山崎製パン株式会社松戸工場と和洋女子大学の共同プロジェクト(YWP)。このプロジェクトが立ち上がったのは、2011年2月。あれから5年、今年度は3種類のパンとお弁当の計4品が商品化されました。今年度の商品企画に携わったのは、健康栄養学類と家政福祉学類の学生24名。この5年間で延べ125名の学生たちがこのプロジェクトに関わっています。工場の製造工程や厳しい衛生管理といった様々な制約がある中で、学生ならではのユニークで



試食のパンやお弁当を取り分ける学生たち

柔軟な発想で生み出される商品は毎年、大好評です。里見祭では例年、新商品を皆さんに試食していただき、アンケートをとって、学びの振り返りとしています。



お弁当はディーヤマザキとのコラボです



うぐいす少女隊 結成! The Teachersと競演!!

里見祭1日目の午後、特設ステージで行われたThe Teachersのバンド演奏に、健康栄養学類の1~3年生で結成されたうぐいす少女隊が踊りと歌で競演しました。The Teachersのメンバーはその名のとおり、和洋女子大学の教職員。岸田学長もキーボードで参加しています。ステージでは懐かしのグループサウンズの名曲の他、和洋女子大学の校歌を皆で歌うコーナーも! うぐいす少女隊を中心に、卒業生や在校生も一緒に校歌を斉唱しました。



週2回、歌や踊りの練習をして本番に臨みました!



和洋オリジナル煎餅 商品化をめざして

健康栄養学類の2年生9名が、タイハイ株式会社・有限会社小島米菓と共同して、オリジナル煎餅の商品化に向けて取り組んでいます。この企画は、タイハイ(株)の丸大豆醤油を使用して、手焼き煎餅につける醤油ダレを企画・考案するというもので、今年の夏からスタート。数回の試作を経て、里見祭で手焼き煎餅を販売。さらに、試作の中から醤油をベースとした6種類の味の煎餅を来場者に試食していただき、お好みの1種に投票していただきました。今後、商品化に向けてブラッシュアップしていく予定です。どうぞ、お楽しみに!



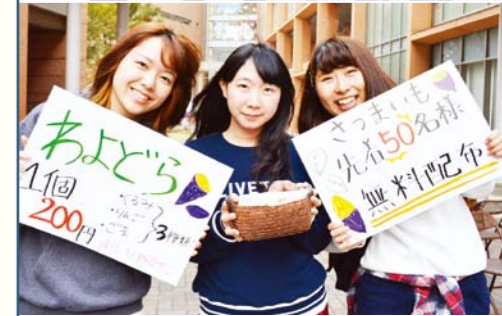
醤油の香ばしい香りがたまらないおいしさ!



学生たちは8月初旬、醤油と煎餅について学ぶために、タイハイ(株)の工場で醤油製造工程の見学、(有)小島米菓の工場で煎餅製造工程の見学と焼き方の講習を受けました



コスプレサークルのテーマも宇宙!



Hip Hopにフラメンコ! 本格的なステージ



4年生バンドの「I rid」! 大盛り上がりでした!



新たな 産学連携が 続々!

次々と始まる新たな企業や団体とのコラボレーションや、スポーツで活躍する学生、世界をめざした学生を紹介します。

おもてなし&スイーツレシピ発表会・試食会 ~米油(こめあふら)を使って健康栄養学を学ぶ女子大生がレシピ開発~



米油を使った おもてなし& スイーツレシピ

開発

ポーソー油脂株式会社の「時間が経ってもおいしさが長持ちする」という米油の特性を活かしたレシピを開発する企画、第2弾!今年のテーマは「おもてなし&スイーツレシピ」。健康栄養学類の3年生24名が8グループに分かれて参加しました。学生たちは企業の意見を盛り込みながらレシピを調整。選考会では企業の方によるレシピの試食、投票を実施。選ばれた4グループのレシピは店頭販売用の商品POPに採用され、商品は10月から三越やイオンなどで販売されました。



ふるいちやすし監督の新作映画 『千年の糸姫』の衣裳を学生が制作!

服飾造形学類の学生たちが、ふるいちやすし監督の新作映画『千年の糸姫』の主要登場人物の衣裳デザインと制作を担当しました。監督との初顔合わせの場で「学生ならではの斬新なアイデアを採り入れて、作品にふさわしい衣裳を考案して欲しい」という言葉を頂き、プロジェクトは7月からスタート。学生たちはシナリオを読み込み、監督とのミーティングを経て、デザイン案を提出。監督とイメージのすり合わせをしながら、夏休みを使って制作に挑みました。参加した学生は1~4年生の20名。イメージ通りの生地がなければ、生地を染めたり燃やしたり漂白したり。素材づくりにも工夫を凝らしました。映画は2016年公開、国際映画祭にエントリー予定です。ぜひ、ご覧ください。



監督と衣裳のイメージについて話し合う学生たち



制作の様子

やちよ蕎麦の会の皆さんと学生たち



新ジャンルの蕎麦が誕生!

健康栄養学類の3年生8名が、「やちよ蕎麦の会」と共同で、新しい蕎麦メニューを開発しました。このコラボ企画は、昨年、八千代商工会議所が「視点を変えた産学連携」を目的に開催した講演会に参加した「さわ田茶家」の澤田社長より「蕎麦に新しい風を入れたい」と申し出があり、実現しました。学生たちは3グループに分かれて、蕎麦を使った栄養バランスのとれたメニューを創作。旬や千葉県産の食材などのこだわりを盛り込み、蕎麦の会の皆さんとの話し合いを重ねてメニューを完成させました。メニューは10月19日~11月8日の期間に1品ずつ週替わりで、やちよ蕎麦の会加盟店(8店舗)で提供され、多くの皆さんに召し上がっていただきました。



まこはやさし♡ピピン麺



そばざんまい汁



やみつきキノコたっぷり秋を感じるそばバスタ



市川市で活動する創作和太鼓集団 手児奈太鼓メンバーの衣裳を制作!

服飾造形学類の専門教育科目「現代きもの設計」(2年後期)を受講する学生13名が、手児奈太鼓の演奏時の衣裳制作を依頼され、14着の衣裳制作を授業内の一環として行っています。学生たちは制作にあたり、体の動きや、使用頻度、洗濯回数、好みの色、装飾や楽曲イメージなどを情報収集。費用についても話し合い、予算を組んだ上で、デザインや素材選びを行い、実務に即した流れで制作を開始。衣裳は来年3月20日、市川市民会館で開催される定期演奏会でお披露目の予定です。



デザイン案を元にメンバーの方々の打ち合わせ

スポーツの世界で活躍する Wayo girl!



目標は全国制覇! がんばります

押忍で通じる世界が空手の魅力です

Archery

高橋志歩さん

健康栄養学類1年

「兄がやっていて、弓がかっこよくて」。中学1年からアーチェリーを始めた、高橋志歩さん。中学で全国個人6位に入賞、高校時代も多くの試合に出場してきました。今年の夏は、国民体育大会関東ブロック大会千葉県予選会に出場。団体予選で3位の成績を収めました。

Karate

大場ももかさん

国際学類 英語文化コミュニケーション専修2年

5歳の時から空手を始めて、現在、数々の国内外の大会で優勝や準優勝の成績を収めている、大場ももかさん。空手の稽古は週6日。後輩の指導も務めているそうです。世界でもっと幅広く活躍できる選手として、空手の技と語学力に磨きをかけたい!と話してくれました。

2015

ミス・インターナショナル 日本代表を務めました

Miss International

中川愛理沙さん

服飾造形学類 服飾造形学専修2年

中川愛理沙さんは2015ミス・インターナショナル日本代表として、この1年間、全国を飛び回り、社会貢献の一環としてチャリティイベントや植樹イベントなどに参加してきました。11月5日に行われた世界大会では見事な着物を披露し、ミス・ナショナルコスチュームを受賞! 今後は学業とモデル業を両立させながら、何事にも一生懸命に取り組んでいきたいとのことです。



SNAP



茶道に華道。和の道のWayo girl



つまみ細工



カルトナージュ



手づくりアクセサリ

技あり卒業生shopの品々

第7回 ホームカミングデー

里見祭と同時開催で卒業生のための「ホームカミングデー」が行われました。恒例の「むら竹会バザー」や「技あり卒業生Shop」は大人気! 1日目の午後には交流会が催され、教員や卒業生が集まり、楽しいひと時を過ごしました。思い出話や近況報告に花が咲き、笑顔にあふれた、和やかな2日間となりました。



交流会でのむら竹会 和洋女子大学同窓会会長 高梨氏

SNAP



「Earth Space」のファッションショー



Career Support 就職サポート

合格率の高さを誇る、秘書検定講座

秘書検定を通じて社会人基礎力を身につけよう

進路支援センターが主催する、資格取得のための対策講座の中でも合格率の高さを誇る、秘書検定講座。11月の2級合格、翌年の準1級合格を目標に毎年、多くの学生が受講しています。秘書経験があり、検定指導にも高い実績を持つベテラン講師の竹村先生の指導で毎年、最難関の1級合格者も輩出しています。秘書検定講座では、準1級・1級に合格した4年生が後輩たちの指導サポートを担当します。彼女たちが首に巻くスカーフは先輩たちから代々受け継がれているもの。このスカーフを巻いて後輩たちの前に立つことを目標に学生たちは頑張っています！

- 秘書検定2級講座・秘書検定準1級講座
- 秘書検定準1級(面接対策)講座

ビジネスのさまざまな場面で上司を補佐し、サポートしていくための業務を具体的に学びます。接遇用語や接待、冠婚葬祭のマナー、立ち居振る舞い、ビジネス文書やグラフなどの資料作成、簿記や会計・マーケティング用語まで、学ぶ内容は広範囲にわたります。トラブルや急な業務の変更など「様々な問題への適切な解決力」が身につきます。

準1級では筆記試験合格後に「面接試験」があります。ここでは「秘書として適切に振る舞う」ことを試されます。講座内では髪型・メイクから、立ち姿勢・歩き方、お辞儀や話し方まで、まさに一挙手一投足まで細かく指導します。笑顔や表情、立ち居振る舞いを美しく洗練させていくので、就職活動時の面接試験にも役立ちます。

- 【その他の資格取得対策講座】
- ファイナンシャル・プランニング技能士3級講座
 - 日商簿記検定3級講座
 - リテールマーケティング(販売士)2級・3級講座



私の就職活動レポート

小山由華さん

英語・英文学類
英語コミュニケーション専修4年(現 国際学類)

内定先: 日本航空株式会社
職種: キャビンアテンダント

中学に入って英語教室に通い始めてから成績が徐々に向上し、将来は英語を使って仕事をするキャビンアテンダントになりたい!と思うようになりました。大学2年次の秋頃、航空業界をめざす学生向けの雑誌で知った、エアラインスクールに入学を決意。3年次にベーシックコースとアドバンスコースを修了しました。9月には進路支援センター主催の就職活動リーダー講座を受講し、グループワークを通じて、採用試験に必須のグループディスカッションに自信が持てるようになりました。9月から12月にかけては、東京ビッグサイトなどで開催される合同説明会やエアラインセミナーに参加。また、企業研究も本格的に開始し、この頃から少しずつ筆記試験対策も始めました。4年次の春からは会社説明会がスタート。エントリーしたのは20社。選考に進んだのは8社(航空会社5社、ホテル2社、ブライダル関連会社1社)で、大手航空会社2社を含む4社から内定を頂き、最終的に日

本航空株式会社に働くことを決めました。エアラインスクールに通い始めて、最初の1カ月は周りの学生たちが自分よりも積極的に発言して輝いている様子に劣等感を感じてしまって、スクールに行っても不安で辛かったんです。でも、そこで立ち止まらないで努力を続けてみました。就職活動リーダー講座でグループの人たちから客観的に私の良いところや足りないところを指摘してもらえたことで、自分に対する自信や改善した方が良いところが自覚できたことも良かったと思います。いろいろなことに挑戦していくうちに、不安が自信に変わっていくことを実感しました。接客業の魅力は「正解がない」ところだと思います。対する人や場面によって正解が変わってくる。だからこそ奥深く、追求していきたい仕事だと思っています。お客様にも仲間にも、「あなたと空を飛べた良かった」と思ってもらえるキャビンアテンダントをめざして、これからも頑張ります。

竹村先生からのメッセージ

様々な問題にぶつかった時に、状況や相手などによって多面的に考え、最善の策を見出していく力は、秘書という職業に関わらずとても大切なことです。また、女性として「自分が他人からどのように見られているのか」を意識するのはとても重要なこと。資格を取得し、立ち居振る舞いにも自信を持つことで、就職活動はもちろん、学生生活のさまざまな場面に自信を持って挑戦できる強さを持つてほしいと思っています。



準1級合格 門馬和美さん
生活環境学類4年(現 家政福祉学類)

NEWS

学生たちのボランティア活動

サークル活動紹介!

ボランティア部で様々な地域貢献



ごみ拾い活動

月に1回程度、学外の近隣地のごみを拾う活動を行っています。道路沿いや里見公園内、河川敷、駅周辺などをまわり、分別して処分をします。多いごみは煙草の吸殻、ペットボトルや缶など。通りすがりの人たちと挨拶を交わしながら、和やかにやっています。

海外支援活動

7月、学内に呼びかけて不要となった衣類や文房具類を集め、フィリピンの子供達へ支援物資として送る海外支援活動を行いました。集まった物資は、衣類がダンボール7箱、文房具類などが2箱。公益財団法人オイスカ(OISCA)を通して寄付しました。



集まった支援物資を整理

ボランティア部では約30名の学生が、ごみ拾い・東北支援・献血の呼びかけなど、主な活動内容のグループごとに活動しています。主軸となる活動以外に、学生が各自で提案したボランティア企画も積極的に実施しています。

被災地での活動

9月、東邦大学ボランティア部と合同で茨城県常総市のボランティアに行きました。台風の被害で稲刈り機械などが浸水してしまったため、現地では主に農家の稲刈りをお手伝い。作業は想像以上に重労働でしたが、農家の皆さんに良くしていただき、気持ちよくボランティア活動をさせていただきました。また、東北支援活動の一環として、「東北の人々を助けたいけど、何をしたいのかわからない」といった学生たちのきっかけになればと、宮城県の被災地へ赴き、語り部の方のお話を伺うボランティアツアーなども実施しました。



手作業による稲刈りの様子

卒業生の活躍

石川リサさん

“伝えること”。それが私の踏み出す、未来への一歩

この秋に公演された舞台「MOTHER ～特攻の母 島濱トメ物語～」に出演した石川さん。東京を皮切りに、山梨・愛知・岐阜・大阪と各地で好評を博した作品です。

高校生の頃からミュージカルに取り組み、和洋女子大学に在学中もダンスや演技のレッスンを続けてきました。この秋に公演された舞台「MOTHER ～特攻の母 島濱トメ物語～」は大林素子さんが主演の史実に基づいた大東亜戦争末期のドラマ。私は主人公が営む、軍の指定食堂の近くに住む女性を演じました。この役を演じるにあたり、当時の人々が何を



想い、何を後世の私たちに託したのか。それを知らなければ、想いを伝えることはできないと思い、戦争のことや当時の時代背景・歴史について学び直しました。戦後70年という節目の年、今を生きる私たちができることは何だろうか?と観客の皆さん、各々に感じてもらえる作品になったと思います。和洋での学びで印象に残っているのは、ゼミでもお世話になった黒田誠准教授の海外アニメーションを鑑賞しながら英語の字幕を和訳するという授業。毎回、先生が1シーンずつ丁寧に解説してくださるのですが、単純に表示されている英文を訳すのではなく、物語の背景やキャラクター相関、宗教観念など、多種多様な要素を盛り込みながら、一文一文に隠された作者の意図を紐解いていく、本当に面白い授業でした。実はこれ、芝居の台本を読み込んで役作りする作業にとっても似ているんです。黒田先生には、当時から女優の下地を作っていたのかもしれない。

まだ未熟者ですが、存在感のある女優をめざして、これからも努力を重ねていきたいです。大切なのはどんなに厳しくても「諦めなければ必ず夢は叶う」と信じて、常にチャレンジし続けること。自分自身にそう言い聞かせながら、この道を進んで来て、「今」の私があります。今後は舞台に限らず、映像作品なども視野に入れながら活動の幅を広げていきたいと思っています。

【プロフィール】
2011年、人文学部 英文学類(現 国際学類)卒業。現在、女優・ダンサーとして、舞台上で活躍中。